

Noriaki Tsuchimoto: a Documentary Filmmaker

# ドキュメンタリー作家

# 土本典昭



『水俣 患者さんとその世界』  
撮影スナップ(1970年)  
撮影:塙田武史

N  
F  
C  
小ホール  
京橋映画小劇場  
KYOBASHI-ZA  
No.14

2009年 8月11日火-8月30日回  
東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

開映後の入場はできません。

定員=151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

一般500円／高校・大学生・シニア300円／小・中学生100円／

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

・観覧券は当日・当該回にのみ有効です。

・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。

・学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。

・発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

**National Film Center**

The National Museum of Modern Art, Tokyo

# 小ホール 上映作品

ドキュメンタリー作家  
土本典昭  
Noriaki Tsuchimoto:  
a Documentary Filmmaker

鉄道ドキュメンタリーの傑作『ある機関助士』や国内外の観衆に大きな衝撃を与えた「水俣」シリーズなどを通じて、日本社会に絶えず鋭敏な問いを投げかけてきた記録映画の巨人・土本典昭(1928-2008)。その没後1年を経て開かれる本企画では、『ある機関助士』(1963年)から『よみがえれカレーズ』(1989年)まで、計23本の作品(17プログラム)を上映して、日本の現代ドキュメンタリーを代表する偉大な作家の歩みを回顧します。開催中の展覧会「ドキュメンタリー作家 土本典昭」と併せてご鑑賞ください。

■監督、演出 原作、原案 脚本 撮影  
音楽 録音 編集 音楽 出演 解説

■特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。  
■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

## ●《京橋映画小劇場》とは

平成18(2006)年度よりフィルムセンターは、それまで教育機関のための特別映写や一部の共催事業の会場として使用されてきた小ホールを、《京橋映画小劇場》(KYOBASHI-ZA)の名のもと、年に数回、フィルムセンターの主催上映企画にも利用し、さらなる上映活動の拡充を図っています。

フィルムセンター所蔵作品の公開を中心に、外部団体との共催企画も引き続き模索しつつ、多彩な上映企画の実現を目指します。大ホール・展示室企画ともども、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

1 8/11(火)2:00pm 8/20(木)6:00pm 8/30(日)0:00pm

### ある機関助士(37分・16mm・カラー)

土本の鮮烈なデビュー作。3分の遅れを取り戻そうとする蒸気機関車の機関助士の労働を、その修業過程も合わせてつぶさに追う。国鉄のスポンサー映画だが、一つ一つのショットに撮影スタッフの熱意と創意工夫がみなぎっており、鉄道ドキュメンタリーの名篇としても評価されている。

'63(岩波映画製作所) 土本典昭・根岸栄・安田哲男・三木稔・太田正孝

### ドキュメント 路上(54分・35mm・白黒)

オリンピックを控え、急速に道路整備が進められる東京を舞台に、事故すれすれの危険な環境で働くタクシー運転手の日常を捉えた。しばしば“タイヤの目線”で撮られた鈴木達夫のキャメラワークと土本の劇映画的な演出が斬新である。ただし、交通安全PR映画としては使われず、長年日の目を見なかった。

'64(東洋シネマ) 土本典昭・楠木徳男・鈴木達夫・南英子・三木稔

2 8/11(火)6:00pm 8/26(水)2:00pm

### シベリヤ人の世界(99分・35mm・カラー)

ロシア革命から半世紀を経たシベリアを5か月かけて横断、各地での見聞を活かして撮影された紅行ドキュメンタリー。日本の歌謡曲「恋のバカンス」の流行など、素顔の民衆生活を捉えている。テレビで放映後劇場用の再編集版がつくられたが、ソ連のチェコ侵入の影響で公開は見送られた。

'68(日本映画新社) 土本典昭・山口貳朗・国島正男・安田哲男・太田百子・三木稔・松方正志

3 8/12(水)2:00pm 8/23(日)3:00pm

### バルチサン前史(121分・16mm・白黒)

京都大学助手であった型破りの新左翼活動家・滝田修に迫る土本唯一の小川プロダクション作品。その撮影対象は政治活動のみならず、予備校講師でもある日常や家庭生活にまで及ぶ。家計の苦しさを語り、ローザ・ルクセンブルクを朗読しつつ、子どもを抱き上げる魅力的な滝田のキャラクターを捉えた。

'69(小川プロダクション) 土本典昭・堤稚雄・大津幸四郎・一之瀬正史・久保田幸雄・松本武顕・滝田修

4 8/12(水)6:00pm 8/21(金)2:00pm 8/30(日)3:00pm

### 水俣 患者さんとその世界

(167分・16mm・白黒)

チッソを訴えた29世帯の患者たちを起点に、さらなる患者発掘の過程を示した「水俣」シリーズの第1作。裁判をきっかけに告発の気運が高まり、ラストでは同社の株主総会を訪れた患者たちの怒りを見事に捉えた一方、この映画を「人間のやさしさ」を追い求める試みだと記したプロデューサー高木隆太郎の言葉も心を打つ。

'71(東プロダクション) 土本典昭・大津幸四郎・閔沢孝子・久保田幸雄

5 8/13(木)2:00pm 8/21(金)6:00pm

### 留学生 チュア スイ リン(51分・16mm・白黒)

千葉大学に留学中、政治運動への参加を口実に学籍を抹消された英領マラヤの留学生の復学運動を記録した作品。プロデューサーの工藤充も「チュア君ひとりにプレゼントする映画」でいいと土本に語り、事態の動きに沿つて遊戯的な撮影が行われた。

'65(藤プロダクション) 土本典昭・瀬川順一・瀬川浩・身内哲雄・黒柳満・三木稔・宮大僕二

### 水俣レポート1 実録・公調委

(48分・16mm・白黒)

公害等調整委員会が患者たちの知らない間に偽造の調停申請書を受理していた、という事実を糾弾する中篇作品。

'73(青林舎) 土本典昭・小池征人・高岩仁・一之瀬正史・浅沼幸一・宮下雅則

6 8/15(土)0:00pm 8/26(水)6:00pm

### 水俣一揆 一生を問う人びと

(108分・16mm・白黒)

チッソの加害者責任が裁判で認められた後に行われた、同社本社における患者たちの直接交渉の記録。この作品から同時録音が採用され、土本自らマイクを握るようになった。患者たちが赤裸々に語る個々の人生と営利企業の論理の対立を、大津幸四郎の臨場感あふれる撮影が捉えている。

'73(青林舎) 土本典昭・大津幸四郎・高岩仁・浅沼幸一・真鍋理一郎・宮沢信雄

7 8/13(木)6:00pm 8/22(土)0:00pm

### 医学としての水俣病 第一部 資料・証言篇

熊本大学の原田正純医師の提案で製作された壮大な三部作第一部。1956年の患者発見以来、水俣病の原因が魚介類に蓄積した有機水銀であることを突き止めるまでの経過を、膨大なアーカイブ映像や医学者の研究をたどりながら明らかにする。

'74(青林舎) 土本典昭・小池征人・有馬澄雄・一之瀬紘子・大津幸四郎・一之瀬正史・高岩仁・清水良雄・岡垣亨・浅沼幸一・宮下雅則・市原啓子・伊藤憲一

8 8/14(金)2:00pm 8/22(土)3:00pm

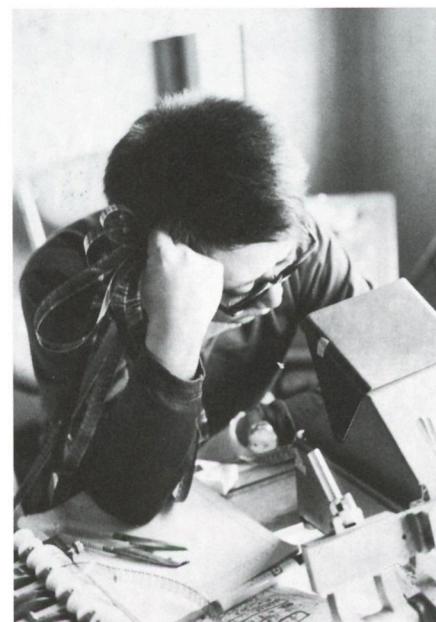
### 医学としての水俣病 第二部 病理・病像篇

有機水銀がいかに人体に侵入するかが解剖や動物実験によって病理学的に示される。しかし未だ解明されない部分も大きく、患者認定における病理学の限界も露呈する。

'74(青林舎) 土本典昭・小池征人・有馬澄雄・一之瀬紘子・大津幸四郎・一之瀬正史・高岩仁・清水良雄・岡垣亨・浅沼幸一・宮下雅則・市原啓子・伊藤憲一



『シベリヤ人の世界』編集中の土本典昭(3枚とも)



9 8/14(金)6:00pm 8/23(日)0:00pm

### 医学としての水俣病 第三部 臨床・疫学篇(91分・16mm・カラー)

患者宅の臨床訪問に重点を置く原田医師の意見を軸に、水俣病の患者認定を審査会に保留・拒絶されたケースを再検証し、疫学的側面の重要性を強調する。

'75(青林舎) 土本典昭 小池征人、有馬澄雄、一之瀬紘子 大津幸四郎、一之瀬正史、高岩仁、清水良雄、岡垣亨 浅沼幸一、宮下雅則 市原啓子 伊藤惣一

10 8/15(土)3:00pm 8/25(火)2:00pm

### 不知火海(153分・16mm・カラー)

裁判の末によく一部の患者が補償金を得る中、思春期に達して新たな苦悩の姿を見せる胎児性患者たちがいる。また水俣の対岸には、医学上いまだ放置されたままの島々がある。そうした人々の暮らしを叙情的な風景の中に捉えつつ、絶望の先に水俣の再生を見据えた土本の新境地である。

'76(青林舎) 土本典昭 小池征人、有馬澄雄、一之瀬紘子 大津幸四郎、一之瀬正史、岡垣亨 浅沼幸一、宮下雅則 市原啓子 小栗孝之、松村禎三 伊藤惣一

11 8/16(日)0:00pm 8/25(火)6:00pm

### 水俣病 その20年(43分・16mm・カラー)

水俣病の歴史と現状を紹介するための一連のダイジェスト版で、土本らが組織して不知火海沿岸を回った「巡海上映会」から上映され始めた。シリーズでもっとも多く上映された作品と土本は語っている。

'76(青林舎) 土本典昭、小池征人、有馬澄雄 大津幸四郎、高岩仁、一之瀬正史 浅沼幸一、鈴木章平 三木稔 伊藤惣一

### わが街わが青春 石川さゆり水俣熱唱(43分・16mm・カラー)

成人となった8人の胎児性水俣病患者が、患者施設で演歌歌手・石川さゆりのショーを実現するまでの道のりを追う。水俣病の活動家の一部はこうした動きに理解を示さなかつたが、患者たちの熱意を見た土本は彼らの懸命の仕事をフィルムに収めた。

'78(青林舎)=東北新社) 土本典昭、小池征人、西山正啓 一之瀬正史、大津幸四郎、川上皓市、平坂政一 久保田幸雄 森拓治 伊藤惣一

12 8/16(日)3:00pm 8/27(木)2:00pm

### 水俣の図 物語(112分・35mm・カラー)

巨大な壁画作品「水俣の図」を完成させるため苦闘する丸木位里・俊夫妻を追い、水俣の新たな歴史の可能性を問いかける一篇。シリーズでは数少ない35mm撮影の長編で、石牟礼道子の詩「原初よりこよば知らざりき」やアルト・フルートを中心とする武満徹の曲「海へ」も紹介される。

'81(青林舎) 土本典昭 濑川順一、一之瀬正史 久保田幸雄 武満徹 丸木位里、丸木俊 伊藤惣一

13 8/18(火)2:00pm 8/27(木)6:00pm

### 海とお月さまたち(50分・35mm・カラー)

「水俣」シリーズのスピンアウトとして製作された児童向けの中編。不知火海の変わらぬ豊穣さを示し、作品中に「水俣」の語は一切使われない。魚にもタコにも、それらを捕獲する人間と同じ尊厳を感じさせる撮り方が印象的。

'80(日本記録映画研究所) 土本典昭、西山正啓、原博徳、浅田康爾 濑川順一、一之瀬正史、柳田義和、江原正雄 赤坂修 川岸喜美枝 松村禎三 大宮悌二

### 水俣病 その30年(43分・16mm・カラー)

湾の埋め立てが始まり水俣病の「風化」の兆候が見えてくる中、未認定患者の多さや裁判闘争の困難さなど、病が発見されて30年経っても残る「影」の部分を見据えた作品。当初は「海は死なず」という大作が計画されていた。

'87(青林舎)=シグロ) 土本典昭 清水良雄 岡本光司 高橋鮎生 伊藤惣一

14 8/18(火)6:00pm 8/28(金)2:00pm

### VOICES OF YOUNG JAPAN[「日本の若者はいま」英語版](30分・16mm・カラー)

国際交流基金の企画により、さまざまな青年像を通して日本を紹介する海外向け映画。ディスコで踊る若者や海外青年協力隊員などを追うが、受験戦争を理由とする自殺者のいる情況にも目を向けています。(日本語字幕なし)

'79(グンヤフィルムプロダクション) 土本典昭 一之瀬正史、清水良雄、今野正典 高橋成之 シャーレン・ハンターゴールド(英語版)

### 偲ぶ・中野重治 葬儀・告別式の記録 1979年9月8日(55分・16mm・白黒)

反骨の作家・中野重治の葬儀記録。党派性に依らず自らの思い描く「党」を貫いた同志として、土本は中野にシンパシーを抱いていた。葬儀記録という質素な外見に反し、参列者の弔いの言葉が胸に迫るエモーショナルな一本。

'79(中野重治を偲ぶ映画人有志の会)(製作スタッフ)小田博、久保田幸雄、小林義正、鈴木志郎、高岩仁、高橋達雄、土本典昭、西山正啓、山郵伸貴、若月治、加納宗子

15 8/19(水)2:00pm 8/28(金)6:00pm

### 原発切抜帖(45分・16mm・カラー)

小沢昭一による軽快なナレーションに乗せて、土本が長年の日課としてきた新聞記事の切り抜きを一枚一枚たどりながら、原子力発電所の安全性に対する疑問を提示する。土本流の「アーカイバル・ドキュメンタリー」として異色を放っている。

'82(青林舎) 土本典昭 渡辺重治 久保田幸雄 高橋悠治 水牛楽団 小沢昭一

### はじけ鳳仙花 わが筑豊 わが朝鮮(48分・16mm・カラー)

朝鮮人を強制連行して酷使した軍国日本を告発する画家・富山妙子のリトグラフ作品が、詩や高橋悠治の音楽と重ね合わせられてゆく。土本は富山の日本人離れした日本への憎悪に違和感を抱きつつも、人間としての画家を魅力的にフィルムに収めた。

'84(幻燈社) 土本典昭 富山妙子 清水良雄、石井浩 本間喜美雄、入谷勝 高橋悠治、三宅棟名 李礼仙

16 8/19(水)6:00pm 8/29(土)0:00pm

### 海賊り 下北半島・浜閑根(103分・16mm・カラー)

下北半島の漁村に原子力船「むつ」の母港を建設する計画が持ち上がる。補償金のつり上げや反対派の切り崩し工作といった、権力による反対運動の抑え込みの様子が、漁民や関係者からの聞き取りを通じて明らかになる。この映画の企画者・松橋勇蔵は網元の息子で、一人芝居を演じる役者として登場する。

'84(青林舎) 土本典昭 清水良雄 横口司朗 岡本光司 サウンド高橋悠治 伊藤惣一

17 8/20(木)2:00pm 8/29(土)3:00pm

### よみがえれカレーズ(116分・16mm・カラー)

ソ連軍の撤退する1988年5月からの5か月にわたる現地撮影により、内戦の爪あとが残るアフガニスタンの民衆を捉えた現地との合作。同国の現代史年表を自ら編集するなど細密な準備で撮影に臨んだ土本は新生アフガニスタンに希望を抱き、帰国した難民や戦いに疲れた反政府ゲリラ、地下水を守る農民などに取材した。

'89(記録社)=シグロ) 土本典昭、熊谷博子、アブドゥル・ラティーフ 高岩仁、一之瀬正史 莱林豊彦 高田みどり 伊藤惣一



ドキュメント 路上



水俣の図 物語



ある機関助士



海賊り 下北半島・浜閑根

月	火	水	木	金	土	日	
小 ホ ー ル	10 11 12 13 14 15 16	ある機関助士 ドキュメント 路上 (計91分)	2:00pm バルチザン前史 (121分)	3 2:00pm 留学生 チュア スイリン 水俣レポート1 実録・公 調査 (計99分)	5 2:00pm 医学としての水俣病 第二部 病理・病像篇 (103分)	8 2:00pm 水俣一揆 一生を問う人 びと (108分)	II 0:00pm 水俣病 その20年 わが街わが青春 石川さ ゆり水俣熱唱 (計86分)
8 月	17 18 19 20 21 22 23	2 6:00pm シベリヤ人の世界 (99分)	4 6:00pm 水俣 患者さんとその世界 (167分)	7 6:00pm 医学としての水俣病 第一部 資料・証言篇 (82分)	9 6:00pm 医学としての水俣病 第三部 臨床・疫学篇 (91分)	10 3:00pm 不知火海 (153分)	12 3:00pm 水俣の図 物語 (112分)
	24 25 26 27 28 29 30	13 2:00pm 海とお月さまたち 水俣病 その30年 (計93分)	15 2:00pm 原発切抜帖 はじけ鳳仙花 わが筑豊 わが朝鮮 (計93分)	17 2:00pm よみがえれカレーズ (116分)	4 2:00pm 水俣 患者さんとその世界 (167分)	7 0:00pm 医学としての水俣病 第一部 資料・証言篇 (82分)	9 0:00pm 医学としての水俣病 第三部 臨床・疫学篇 (91分)
		14 6:00pm VOICES OF YOUNG JAPAN 偲ぶ・中野重治 葬儀・告別 式の記録 1979年9月8日 (計85分)	16 6:00pm 海賊 下北半島・浜間根 (103分)	1 6:00pm ある機関助士 ドキュメント 路上 (計91分)	5 6:00pm 留学生 チュア スイリン 水俣レポート1 実録・公 調査 (計99分)	8 3:00pm 医学としての水俣病 第二部 病理・病像篇 (103分)	3 3:00pm バルチザン前史 (121分)
		10 2:00pm 不知火海 (153分)	2 2:00pm シベリヤ人の世界 (99分)	12 2:00pm 水俣の図 物語 (112分)	14 2:00pm VOICES OF YOUNG JAPAN 偲ぶ・中野重治 葬儀・告別 式の記録 1979年9月8日 (計85分)	16 0:00pm 海賊 下北半島・浜間根 (103分)	1 0:00pm ある機関助士 ドキュメント 路上 (計91分)
		11 6:00pm 水俣病 その20年 わが街わが青春 石川さ ゆり水俣熱唱 (計86分)	6 6:00pm 水俣一揆 一生を問う人 びと (108分)	13 6:00pm 海とお月さまたち 水俣病 その30年 (計93分)	15 6:00pm 原発切抜帖 はじけ鳳仙花 わが筑豊 わが朝鮮 (計93分)	17 3:00pm よみがえれカレーズ (116分)	4 3:00pm 水俣 患者さんとその世界 (167分)

### 展示室(7階)

#### [企画展]

ドキュメンタリー作家 土本典昭

Noriaki Tsuchimoto:  
The Life of a Documentary Filmmaker

6月30日㈭~8月30日㈰

代表作の「水俣」シリーズや鉄道ドキュメンタリーの傑作『ある機関助士』(1963年)など、映画作りを通じて日本社会に絶えず鋭敏な問いを投げかけてきた記録映画の巨人・土本典昭(1928~2008)。没後1年を経て、遺品や写真などを通じてドキュメンタリストとしての行動と思考の軌跡をたどります。

#### [常設展] 企画展に併設

#### 展覧会 映画遺産

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

\*月曜日は休室

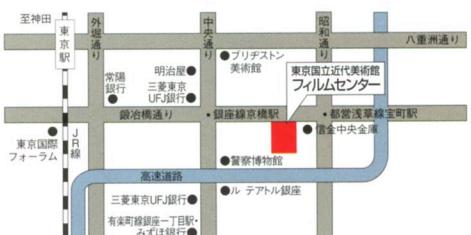
開室時間=午前11時~午後6時30分  
(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで), MOMATバスポートをお持ちの方, キャンパスメンバーズは無料

\*( )内は20名以上の団体料金です。

\*学生, シニア(65歳以上), 障害者の方は, 証明できるものをご提示下さい。

\*フィルムセンターが主催する上映会をご覧になつた方は当日に限り, 半券のご提示により団体料金が適用されます。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車, 出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車, 出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車, 出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車, 八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ウェブサイト:

<http://www.momat.go.jp/hfc/k/>

